

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(宿泊研修、県職員 NPO 法人研修、おおたか静流チャリティライブ)
- ・スタッフ雑感(松村 尚俊)
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

187号/2019 ▶ Since 1984

「くるくる変わる猫の目30年」 杉浦 良

最近「経済的自立」「より高い賃金を目指して」「一般企業に負けない商品力」などという言葉が障害者福祉のトレンドになっています。

今から30年程前は第二次産業の下請けが中心だった障害者福祉の作業現場からは、想像がつかないほどの変化です。授産施設という名前の身体障害や知的障害のメンバーたちが働く施設では内職が当たり前で、変わり種の施設長が工賃の高い作業をあれこれ工夫しながら導入を検討するものの、少ない人員配置の中、授産職員ではない福祉職員からは敬遠されることもありました。

「ヨーロッパには授産施設がない・・・例えばチーズ職人と何らかのハンディを持ったメンバーたちが作ったチーズを有名レストランに納品できる現実がある・・・日本とは根本的なところが違っている・・・メンバー達を保護管理することに余りにもウエイトが置かれていないか・・・普通に働く環境にメンバー達を・・・」

先進的な専門家と言われる方々から、そんな言葉が漏れたのも30年程前でしょうか。

時は流れ、今では「工賃倍増計画」「工賃向上計画」という言葉が福祉業界にも浸透してきました。ただその流れに沿える人たちは、障害基礎年金等と合わせて経済的自立を目指す方向もあるでしょう。しかし様々なハンディーある方々が、そのような方向にすべて向かうことが出来ないのも現実です。



イラスト
久米君

「ここは作業所だから、作業のできない方は受け入れられません」という方向と「家でじっとしているより、通うだけで精一杯の方も、作業所に来て皆と顔を合わし、話すだけでも意味がある」という方向、作業の中身も単価基準の低い作業はやめて収益率の高いものを目指すのと、単価は安くても誰でもいつでもすぐに取り組める作業を目指す方向などと色々です。

「知的障害のみんなに、将来のことを考えて缶詰を作る作業所を造ろうとしたら『なんで知的の子供は普通の教育ではなく、職業訓練ばかりか？』と親に詰め寄られ挫折した・・・」35年程前に聞いた、ある先生の愚痴です。教育を受けることから遠ざけられたメンバー達の親御さんから見れば、仕事の確保より教育によって自分の子供の可能性が広がるのでは、と思われたのでしょうか。ただ時が流れると「・・・学科教育ばかりで、卒業しても仕事に就けない・・・英語なんかやめて・・・職場体験実習先を確保して・・・とにかく作業体験せんと・・・」そんな声が聞かれるようになりました。

障害者自立支援法が平成18年に制定され、その後「自立」が「総合」に入れ替わりました。就労継続支援A型（事業所と雇用契約を結び最低賃金が保証される）就労継続支援B型（事業所とは雇用契約でなく利用契約を結び、作業収入から掛かった経費を引いた額を工賃としてメンバーに支給する）が導入されました。当初A型事業所ではなくB型事業所ばかりが増えるので、A型事業所に自立支援給付費（利用者1人に支給される給付費で、このお金で職員の給料や事業所の家賃光熱水費等が賄われる）や特開金（特定求職者雇用開発助成金）等を給与補填しても構わないと方向転換すると、A型事業所は倍増しました。ただB型と同じような作業内容で最低賃金を支払うためには、作業時間を短縮し助成金が切れる前に別のメンバーに入れ替えるなどという状況も生まれました。状況を打開するために元にもどし補填の禁止を打ち出すと、A型事業所が大量に閉鎖する流れとなりました。

今は事業収入を増やすための改善策を出しながらも、毎年上がる最低賃金の縛りに四苦八苦し（H18年617円～H27年695円～R1年[H31]793円）、仕事ができる障害者を確保する（助成金が支給される間は緩やかだが）ために奔走するA型事業所という状況でしょうか。就労継続支援B型事業所では、メンバーに支給する工賃で自立支援給付費の多い少ないが決まるなど、今までの運営の在り方が問われつつあります。

太陽と緑の会は就労継続支援A型でもB型でなく、地域活動支援センターと障害者地域共同作業所という形態で運営しています。大きな違いは、公的資金が非常に少ないということもありますが、メンバーの工賃が100円から793円（最低賃金）と大きく違います。障害種別も障害程度もバラバラのメンバー達が、それぞれやれることをやりながら、トータルとして「人も物も活かされる街づくりの活動」に関わっています。スタッフはメンバー達がやれていないところを埋める作業に取り組みます。そこにボランティアや一般市民の支援そして行政からも支えもらうという形です。さて新しい令和はどんな年になるのでしょうか。

お知らせ

宿泊研修 2019in 広島

10月21日～22日、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計24名が参加して、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を広島県で行いました。

今回は庄原市にある「かすたねっと」(10人定員の高齢者デイサービスセンター)を訪ねました。施設の見学というより、代表の折口智朗さんの歩んでこられた人生を感じながら、折口流障害者福祉論を勉強するという企画です。

庄原市ふれあいセンターで、六甲学園職員時代の制度や資格が整えられる前の福祉実践、その後の福祉施設造り、NPO法人を立ち上げて「かすたねっと」を始めた現在など、福祉関係者では異色の経験から湧き出る言葉を聞かせて頂きました。

県職員 NPO 法人研修

10月7日、8日の2日間、県職員NPO法人短期体験研修を行いました。今年で9回目を数える息の長い取り組みです。

今年は臨床検査技師、放射線技師、行政事務、水産研究員、心理職、といった7名(男性5名 女性2名)の皆様が参加して下さいました。

様々なハンディを持ったメンバーとリユース・リサイクルの作業を共にする、という非日常的な体験に、パワーポイントを使ったプレゼンや質疑応答・意見交換を交えた2日間の研修でした。

第10回おおたか静流 チャリティライブ

11月6日第10回おおたか静流チャリティーコンサート in 般若院を行いました。子どもからご高齢の方まで90人もの方々がお越しくださいました。おおたか静流さん、Keiju(中嶋患樹)さん、Asu(ああす)さんが奏でる音楽が、夜の般若院本堂を包みました。10回すべて参加の方、京都や松山から聴きにいられた方、初めて来て3回泣いたという方など、中身の濃いコンサートでした。

チャリティー義援金として9万5000円、おおたか静流さん無料提供CD売り上げ分1万8000円、総計11万3000円

以上金額を(特非)太陽と緑の会と(社福)ありのまま舎(障害者自立企画)の支援に活用させて頂きました。

有難う御座いました。



ラッキョを頂きました

毎週日曜日の昼食はメンバーのAさん手づくりのカレー。ハンディの関係で手先が少し震えますが、何とか包丁も使いこなせるようになりました。

かたい鹿肉を切るのは苦手なため、メンバーのBさんが代わりに切ってくれています。

先日北海道からキャンピングカーで来られたNさんに頂いた赤いジャガイモもたっぷり使わせて頂いています。

お昼の時間が近づいてくると、カレーの香ばしいにおいが売場まで漂ってきます。

「今日のお昼はカレー？」「ええ匂いがするね」とお客様から声をかけられることも。

理事（ボランティア）として会を支えて下さっているKさん手づくりのラッキョがカレーの副菜として活躍してきましたが、ついに最後の日が来ました。

メンバーのBさんが「これで終わりです」と言って、ビンから器にラッキョを盛り付けます。

メンバーの視線がラッキョに集まります。

「空になったビンを洗ってKさんに返さない」となどと話していると、

「カレーの匂いがしたから…。よかったらみんなで食べてね」

とお客様が手づくりのラッキョを持って来て下さいました。

本当にありがとうございました。

高校生体験ボランティア

台風19号が過ぎ去った直後の10月13日午後、脇町高校3年生のお二人が体験ボランティアに来てくれました。

様々なハンディを持ったメンバーが作業について説明し、一緒に作業を行い、あっという間の4時間でした。

お米を贈らせて頂きました

9月2日、様々な方々から頂いた玄米100キロを精米し、出会いの家（大阪市西成区）に送りました。

「残った古米も回収大丈夫ですか？」

そんなお米が5袋たまりました。玄米なので精米して、長年日雇い労働者の支援を続けておられる出会いの家に送りました。炊き出しのおにぎりとして活用されます。

9月30日、NPO法人クレエールが行っている子ども食堂に、皆さんから頂いた玄米110キロを精米して届けました。

月曜から金曜の午後1時～6時、第4土曜日午前10時～午後3時、子ども食堂を開いているクレエールさん。全国的には月1回とか多くて週1回。毎日活動が続いているクレエールさんに頭が下がります。理事長の原田さん、副理事長の喜多條さんには、細く長くを勝手にお願いしました。

来所・見学・講演

8月28日午後から徳島県大学人権教育研究協議会の集まり（今回は四国大学）で代表杉浦が話をさせて頂きました。

四国大学、徳島文理大学、阿南高専、徳島工業短期大学で構成される、全国でもユニークな協議会です。

10月6日、以前体験実習に来られた徳島北高校の生徒さんと先生が取材に来られました。映像作品に仕上げて文化祭に出されるそうです。スタッフのMへのインタビューの後、様々なハンディを持ったメンバーさんにも取材をされていました。カメラを向けられて、メンバーさんも少し緊張気味でした。どんな作品になるのか楽しみです。

焼却炉の修理

「焼却炉下部の鉄格子が落ちていたのを見つけました。1年半前には炉内温度測定熱電対が壊れ自分で交換修理。そろそろ本体寿命か？などと不安がよぎります。例えば17年程前、在宅障害者援護事業費でゴミ焼却炉を購入させて頂きました。それから暫くして廃掃法改定により火床面積0.5平米以下の小さな焼却炉まで、助燃バーナー等を付けないと使用できなくなりました。改造費用が本体価格より高くなるという厳しい現実にも処分も考えましたが、公的資金(税金)で購入したものを3年程で処分することの後ろめたさから、共同募金の申請をしました。有難いことに無事受配でき、今まで活躍してくれました。鉄格子のパーツ購入も考えましたが、この焼却炉メーカーは既に廃業。残す選択肢はDO IT MYSELF。鉄の棒とラックの支柱で作りました。耐久性は今一つですが、焼却炉にはまだまだ現役で活躍してもらいます。」

そう書いたのが今から2年ほど前のこと、今度は煙突に亀裂が入りました。最初の煙突は意外に早く穴が開き、ステンレスの煙突に交換。今回はそのステンレス煙突の溶接部分から穴が開きました。バーナーで850度まで燃焼温度を上げるため早く劣化するのでしょうか。

ステンレス板を巻き付けステンレス針金で止め、耐熱塗料で化粧直しです。気が付けば丸19年。20年しっかり使えば、補助金や共同募金を活用させて頂いた焼却炉も、十分寿命を全うできたと思うのですが・・・

食料品を頂きました

浄土真宗本願寺派徳島中組の皆さんから、食料品やお米を頂きました。「フードロスをなくすために、まだ食べられる不要な食材を集めてきました」と、7月から定期的に持って来て下さり、当会で活用させて頂いています。

冬期休業・定休日

水曜日、第2第4火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。
12月18日(水) 25日(水)

冬期休業 12月26日(木)～1月3日(金)

1月4日(土) 新年の活動スタート。
1月8日(水) 13日(月) 14日(火) 15日(水)
1月22日(水) 28日(火) 29日(水)
2月5日(水) 11日(火) 12日(水) 19日(水)



スタッフ雑感

こんにちは、回収担当の松村です。ご依頼いただいた不用品を回収するため、各ご家庭にお邪魔させてもらっている日々を送っています。

一口に回収といいましても内容は様々であり、それこそ古新聞、古雑誌、段ボールからサイズが合わなくなった洋服、まだ使えるけど新しいものに買い替えたため不要になった家電製品、食器、小物等々、枚挙にいとまがありません。それらの品々を活用させていただく事で、当会の運営は成り立っております。ありがたい事です。

そして、それらの品々を出していただく方々も様々で、昔から当会にずっと品物を出していただいている方、たまたま、当会に買い物に来られた時、回収活動を知ってご依頼いただく方、ご近所に当会のことを聞いてちょっとお願いしてみたという方、ネットで当会のホームページを見て頼んでみたという方、これもいろんな形で当会を知っていただいております。

そんな回収活動を行う日々、最近特に多いと感じるのが、お住まいの方がご高齢のため、家を引き払ってご家族のところへ引っ越しされたり、老健施設に入居されたりされて、不要になった物を何でもいから持って帰ってほしいというご依頼です。

実際にご依頼いただいたおうちにお邪魔させてもらおうと、それこそ一軒丸ごと、なんでも、という事で、それなりに品物の量も多く、とても一回の回収では全部積みきれないことがあり、その場合は日を改めて再度回収に伺わせてもらうことも多いのですが、

そんな回収現場を目の当たりにすると、物量の多さにも圧倒されることもさながら、やはり長年1つの家族が生活していたという事実、そしてそこからうかがわれる歴史の積み重ねを感じさせられることもしばしばあります。

「なんでも持って行っていいよ」と言われて、さりげなく手に取った小さな人形、ふと周りを見渡すと棚に同じような小さな人形が綺麗に飾ってあります。思わず「いいんですか?」と聞くと、「好きでだいぶ集めたけど、もうええんよ」と。

「こっちに食器がいっぱいあるんやけど、持って行ってくれる?」というので見てみると、綺麗に揃えられたお膳や小鉢や小皿、「もう家で大勢集まることがなくなったから、こんなあっても困るんよ」

そういえば、私の小さい頃、正月やお盆、法事のたびに家に親戚一同が集まっていた思い出があります。そして、いつの間にかそういう集まりがめっきりなくなってしまいました。

この日本が高齢化少子化社会と言われて久しく、ここ数年「終活」という言葉も聞かれるようになりましたが、こんな回収現場を訪問させていただく機会が増えるにつれ、改めてこの言葉がずっしりとリアリティをもって感じられるようになりました。

そして、色んな思い出が詰まっているであろう数々の品物を、次に使っていただく方の手元に届くように、今日も回収にお邪魔させていただいております。

(専任職員 松村 尚俊)

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2019年9月1日～2019年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

山室、柏木、渡部、おおたか静流チャリティライブチャリティ、村上、原田
(郵便振替口座) 中村、内原

品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○福田、川又、久保、三好、山内、三木、西村、中川、後藤、沢西、大島、杉本、吉川、久米川、吉田、内田、森井、山本、竹内、マスハラ、楨山、井筒、沢地、米倉、中畑、日下、武市、今井、富永、木野内、岡田、中岡、佐藤、村上、猪山、中西、三田、永榮、池口、米本、福家、斎藤、新田、後藤、新森、大平落、山ノ井、松本、林、吉本、山口、小倉、丸橋、関口、清水、福家、藤岡、畠中、百々、布袋、田中、加藤、麻里、隠岐、宮城、内藤、仁木、竹内、森口、來田、位田、杉原、榎本、川端、姫野、鎌田、漆原、長尾、松本、長野、元木、石橋、大島、岸木、大家、岸、八十川、高橋、永岡、久米、柿本、谷、近藤、長倉、早淵、高井、西野、中村、今井、多田、河野、岩野、井上、友成、木村、カンハラ、岩崎、岩田、丸岡、古川、笹島、カワカミ、植木、松下、月岡、岡山、海道、松本、里東、片山、石見、吉岡、大上、柏木、猪俣、八木、高尾、梅岡、幾田、美濃、杉浦、稲崎、藤井、岩崎、楨本、大西、笹倉、堀川、大津、中平、高木、岸路、鶴本、原、タナカ、キモト、阿部、栗坂、長浜、谷口、川崎、上田、山城、長谷部、イハラ、早川、平山、山崎、川人、山手、三浦、カワノ、岡田、合田、戸川、楠、白石、元木、丸岡、神下、篠野、荒井、大和、加藤、川邊、瀬山、安喜、原淵、大西、粟飯原、志摩、米本、池口、植松、遠藤、作田、勝間、春藤、榎下、井原、西名、村、藤岡、社会福祉法人ハートランド、小林、都古、西出、新見、鎌田、原田、高松、久米川、井内、村上、柿本、名田、原田、武田、松本、野田、森崎、小西、川上、桑田、横田、河邊、長浜、中西、西川、多田、今津、乾、吉岡、七條、藪原、武岡、森、梅岡、小西、大代、辻、友成、仲、戸出、岡山、多智花、以西、一宮婦人会、島田、ナカオ、來田、近藤、三谷、有井、牧野、大栗、貝出、松島、和田、柏木、下野、窪北、谷崎、中野、一宮、安芸、植木、梅原、北、新居、楠本、藤井、菅野、森田、林、南、山本、本田、山内、大島、椎野、前野、藤原、山下、志摩、庄子、木村、梅津、石田、秋野、中島、吉村、川島、立石、天野、兼子、星合、鈴木、射場、峯田、竹内、堀、堀川、藤原、土内、東條、楨本、尾方、遠藤、小林、矢本、井原、山下、近藤、村井、木村、川端、宮本、瀬部、織田、木内、中野、岩本、原、小池、竹田、横田、松下、昭和婦人会、梶原、今枝、武市、有井、福島、河崎、久米川、地域活動支援センターやまもも、高橋、米山、小野、原、荒川、近藤、三田、松田、小山、山橋、中尾、桜井、中内、幸田、龍田、園田、岡、中川アニマルクリニック、村上、中野、土橋、山崎、行譜、中川、富永、宮本、米田、谷口、北野、神田、月岡、尾方、重井、阿部、岩野○北島町○吉川、松田、走川、福原、北島町社会福祉協議会○藍住町○西村、大久保、福永、井上、本浄、打樋、國岡、浅川、内海、濱、武田、荒井、中島、堀内、杉村、柴田、渡辺、楠木、藤田、影山○阿南市○中野、谷、吉原、遠藤、江川、上原、篠原、藤坂、笠井、粟飯原、西村、福島、佐野、熊野○石井町○中原、赤尾、土肥、大上、阿部、金山、坂本、野村、川真田、建本、森野、藤本、高田、戸田、竹内、石井、米田、近藤、前田、富士、永岡、藤重、井内、秋月○吉野川市○秋田、上岡、森本、割石、大倉、益田、北、河野、住友、石田、以西、竹内、川真田、粟谷、上岡、北浦、小原、米澤、蒔田○美馬市○樋口、藤田、大西、鈴江○松茂町○三好、中野、榎並、宮崎○鳴門市○水川、栗岡、島津、渡辺、益岡、芝、宮本、近藤、谷口、渡辺、林、佐川、藤田、高田、林田、内田○阿波市○川口、地面、田中、山田、有井、森田、宮下○神山町○河野、西村○板野町○高井、沖津、阿部、平野、板野町社協石川、吉川○小松島市○松本、飛田、大上、新居、浜田、中山、野田、折目、壁内、赤澤、藤代○上板町○田中、坂東、河野、原田、武田、安岡○美波町○ポテスワ○三好市○横井、藍原、森○つるぎ町○戸田○佐那河内村○谷口○奈良県○平田○石川市○井上○香川県○高濱、三谷○京都府○木村、井上、松本○大阪府○水口○福岡県○永峰○東京都○蒲田○埼玉県○本田○静岡県○戸倉○その他○立花

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○西條、安芸、尾崎、吉岡、犬伏、川野、乾、森、大栗内科、富澤、柏木、出口、中川、福田、山室、泰地、村松、土井、佐野、島津、渡辺、山田、松浦、横山、水落、板東、長野、岡本、清重、城ノ内高校、楠本、寺西、吉田、田村、広岡、林、美馬、田中、福井、内藤、杉本、和泉、宮崎、木村、安倍、小松、河野、増田、原田、なの花徳島、村上、大櫛、ケントホームズ、山本、武田、阿部、太陽堂薬局、伊勢、藤本、宮崎、福永、三宅、渡辺、サンルートホテル、久米川歯科、小達、榎本、岡崎、板東、西林、伊津、双葉、株式会社トリート、三浦、宮本、笹原、大櫛、野田、宮崎、柏木、辻井、佐藤、松岡、大串内科、里見、川野、井関、アップル岩崎、近藤、大坪、出口、粟谷、泉、濱口、前川、西口、関子、谷脇、森井、高瀬、森、ヤーキー、湯浅、松島、橋本、内藤、平田、理容こまどり、平山、小久見、中島、永原、井口、松本、大櫛内科中野、小川、重清、割石、浦上、山下、金山、谷脇、福山、佐川、金本、金森、才グラ、真鍋、近藤、西岡、ライト、橋本、野田、川崎、多田、徳元、柏木、坂部、西木、なむなむ堂、岡山、七條、真鍋、井上、亀井、松葉、内田、山内、立川、西村、藤田、近藤、宇治製菓、川原、バルネケ動物病院、津田、高井、日下、後藤、梅枝、隅田、生長の家、大西、竹田、堀、武地、藤井、原田、竹谷、立川、林、杉山、上山、松岡、飛鳥、坂東、平尾、河井、中山、大櫛内科多田、渡辺、岩佐、土屋、武地、森田、森、麻植、岡部、宮本、吉岡、桑村、キクヤ、上村、戎谷、楠根、谷、幸田、北條、田井、野上屋不動産、応神小学校、石塚、古内、すぎの子保育園、中川、矢本、高部、わかさ幼稚園、大櫛、大地、松井、高畑、岩丸、横井、吉富、早見、谷本、岡島、下塚、粟飯原、平山、森脇、漆原、村上○吉野川市○大石、藤井、渡部、山澤○藍住町○谷崎、濱井、森崎、福岡、次岡、坂口、井上、石本、林○鳴門市○中島、小島、藤田、石井、西岡、大森、大和、川村、井上、辻、脇田、前田、久龍、益田、廣瀬、市原、秋本○松茂町○森、横田○上板町○河野、小林、小川、西岡○石井町○小川、阿部、長篠、川野、内田、三木、友成、桑原○北島町○和善、飯坂、ソバ、中山、堀、宮本○板野町○中島、宮崎○小松島市○森本、林、ひのみね支援学校PTA、中尾

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いてるので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。ナス、ミカン、スダチ、ホウレンソウ、ジャガイモなど、旬のお野菜、果物を差し入れて下さった皆様、ありがとうございます。鹿肉、ジューズ、お菓子、お米などを下さった皆様もありがとうございます。メッセージを添えてお品物を郵送して下さいました皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

編集後記～変える？ 変わる？

今日も朝から作業場はにぎやかです。朝のミーティングが終わると、メンバーのAさんはトイレの掃除、Bさんは掃除機を使って売場の掃除、Cさんは炊飯器にお米と水を入れて炊飯の準備、Dさんは値札のついたリユース品の陳列を行います。奥の倉庫では、倉庫内に格納していたパレット類を外に出して店舗オープンの準備の傍ら、お持ち込みに来られた方からお品物を受け取って持ち込みカードを書いて頂いたり、袋や箱から中身を出して仕分けの準備をしたり、電化製品を探しに来られたお客様を売場にご案内したり、メンバーもスタッフも動き回っています。

一見すると、様々なハンディを持ったメンバーが任された仕事を肅々とやっているように見えますが、そう簡単な話ではありません。1日の半分以上はトイレにこもっているEさん、10分作業をすると作業に集中できなくなり、周囲の人へのちょっとした言い争いが始まってしまうFさん、お客様とお話するのが好きで「僕は20歳年上の奥さんがいて子供も2人いる」と真顔で言って(実際は違うのだが)誤解を招くことがよくあるGさん、朝から大声で吠えまくり妄想で

ぐちゃぐちゃになってしまった心の交通整理をしないと作業にとりかかれないHさん、いったん調子を崩してしまうと復帰が難しくなってしまうIさん、ひとつの作業をじっくり根気よく取り組んでくれるが、休憩時間が長く、自転車売場で売り物の自転車のベルを鳴らして遊んでいることもあるJさん、自分の気持ちを言葉で表現することがなかなかできず、時折ためこんだ感情を吐き出すように大声で叫んで周囲を驚かせてしまうKさん。

一般就労や障害者雇用からはじかれてしまった方々の欠点を探すのは簡単です。これらの欠点を何とか変えようと頑張っても、心が折れてしまうことが多いです。

「結局、自分が変わるしかないんや」

相手の問題のように思えて、実は自分の価値観、キャパシティ、許容力、人としての幅みたいなのが問われているのかもしれない。その先にあるものがイメージできるかどうか。最後はそこにかかってくるように思います。

本年も有難うございました。本誌をもって新年のご挨拶に代えさせて頂きます。新年もよろしくお願い致します。(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会